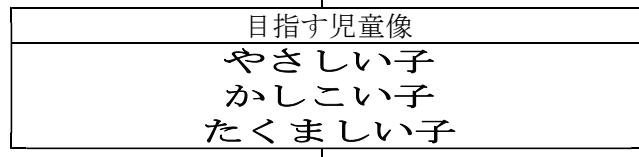
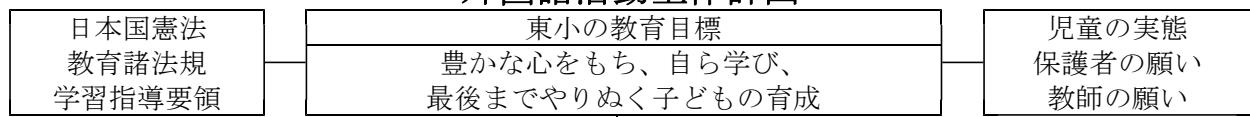


外国語活動全体計画



外国語活動の目標・内容・主な活動		他教科、領域等における国際理解教育の視点
目標	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。	道徳
内容	1 コミュニケーションに関する事項 (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。 (2) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。 2 外国語への慣れ親しみに関する事項 (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 3 言語と文化に関する事項 (1) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付く。 (2) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。	特別活動
主な活動	• ゲーム • クイズ • 疑似体験 • チャンツ • 歌 • ダンス • ビデオ視聴 • 外国文化紹介 • 絵描き • 工作 • ショー・アンド・テル • あいさつ • ALTとの交流（遊び、料理） • 情報交換 • アルファベットの活用 等	総合的な学習
		各教科

外国語活動のねらい	
①主に外国語によるコミュニケーションを通して、互いのよさを認め合う心を養う。	
②外国語の音声やリズムに親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
③自国や他国の言語や文化について興味・関心をもち、そのよさや違いに気付く態度を養う。	

め 外 国 す 語 児 活 童 像 で	コミュニケーションを通して、相手のことを理解しようと努力し、思いやりをもって他者に接することができる子
	外国語の音声やリズムに親しみ「表現したい」「伝えたい」という思いをもって、進んでコミュニケーションを図る子
	自国や他国の言語や文化に体験的にふれ、その共通点や相違点に気付くことを通して、それぞれのよさを認めることができる子